安井鍼灸整骨院 NEWS VOL.５１（１２月）

こんにちは。安井鍼灸整骨院です。今回は、RS ウイルス感染症です。

RS ウイルス感染症とは？

RS ウイルス感染症とは、RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症です。何度も感染と発病を繰り返しますが、生後 1 歳までに半数以上が、2 歳までにほぼ 100%の乳幼児が感染するとされています。9 月頃から流行し、初春まで続くとされてきましたが、近年では夏季より流行が始まるようになってきています。非常に感染力が強く、幼稚園や保育園などの施設内感染に注意が必要です。

RS ウイルス感染症の特徴

9 月頃から流行し初春まで続くが、近年では夏季より流行が始まる。
非常に感染力が強い。
何度も感染と発病を繰り返す。

どんな症状？

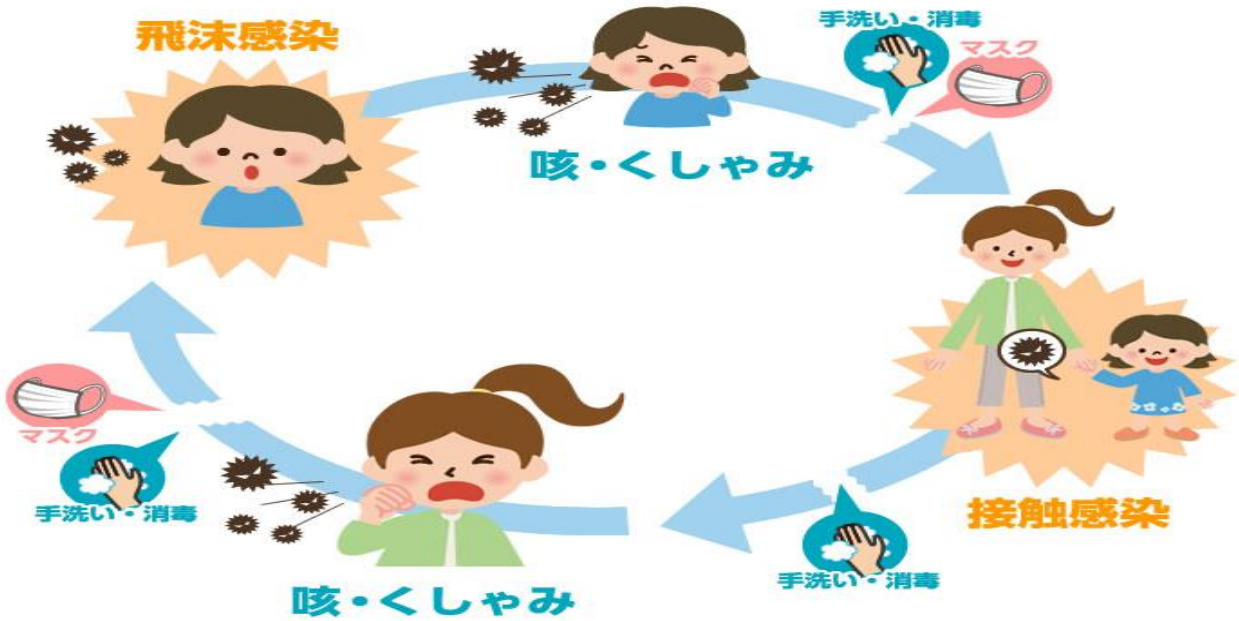
発熱、鼻水などの症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、咳がひどくなる、「ゼーゼー、ヒューヒュー」という喘鳴を伴った呼吸困難が出るなどの症状が出現した場合は、細気管支炎、肺炎へと進展することがあり注意が必要です。潜伏期間は 2～8 日、典型的には 4～6 日です。初めて感染する乳幼児の約 7 割は、数日のうちに軽快しますが、約 3 割は咳が悪化し、喘鳴、呼吸困難症状などが出現します。早産児や生後 24 ヶ月以下で心臓や肺に基礎疾患がある、神経・筋疾患や免疫不全の基礎疾患を有する感染者の場合、重症化するリスクが高まります。重篤な合併症として注意すべきものには、無呼吸発作、急性脳症等があります。

かかってしまった時の対処法

RS ウイルスには有効な抗ウイルス剤がなく対症治療（症状をやわらげる治療）、重症化した場合には、酸素投与、補液（点滴）、呼吸管理が行われます。感染を拡大させないため、対策しましょう

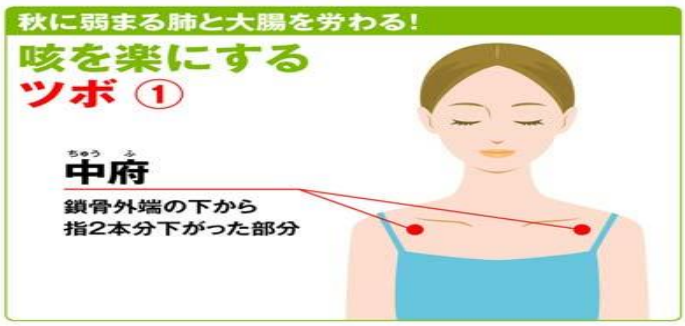
★感染経路をキチンと把握しましょう

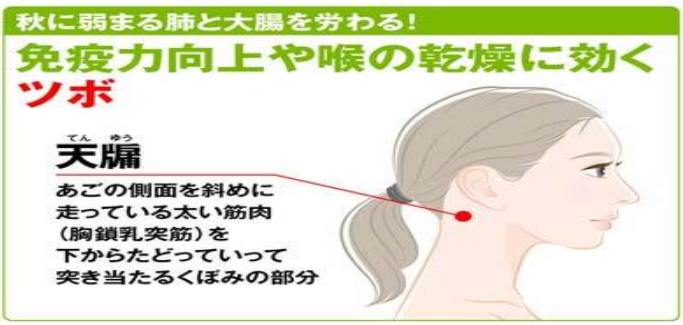
RS ウイルスは、RS ウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことで感染します。感染の多くは、この「飛沫感染」によると考えられ、ドアノブなどの環境表面についたウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染する「接触感染」も成立します。



成人の感染にも注意！

成人が RS ウイルスに感染した場合、かぜのような症状であることが多いことから、RS ウイルス感染者であると気付かないことがあります。したがって、咳等の呼吸器症状がある場合は、可能な限り 0 歳～1 歳児との接触を避けることが乳幼児の発症予防に繋がります。また、RS ウイルスに感染した乳幼児を看護する保護者や医療スタッフが RS ウイルスに感染した場合、一度に大量のウイルスに曝露されるため重症化することもあります。
RS ウイルスは高齢者においても重症の下気道炎を起こす原因となることが知られており、特に介護施設内などでの集団発生が問題となる場合があります。





安井鍼灸整骨院　０７８－９９５－９４６１　新患の方は、来院前に予約の御協力をお願いします。
9：00～12：00　16：00～21：00(月～金)　８：３０～13：00　16：00～20：00(土)
駐車場正面に２台　キッズスペースあり　夜２０：３０まで受付　詳しくは HP をご覧ください。
兵庫県明石市大久保町大窪１９２１番地の１クレージュ山手１０１号(カラオケまねきねこ横)